

カザフスタン共和国セミパラチンスク核実験被害に関する 近郊住民インタビュー

平林 今日子

安田女子大学非常勤講師

川野 徳幸

広島大学原爆放射線医科学研究所

松尾 雅嗣

広島大学平和科学研究センター

はじめに

広島大学原爆放射線医科学研究所・広島平和科学研究センター・カザフ放射線医学環境研究所の研究者で構成するわれわれの研究グループは、2002年から被災住民の健康面・精神面・社会経済的側面における被害の実態を明らかにする目的で、アンケート調査および聞き取り調査を開始した¹。アンケート調査は、2008年8月調査を含め、現在まで核実験場近郊の31村で実施し、計1581名からアンケート回答（1097件の被災体験に関する証言を含む）を得ている。その内訳を次頁の表1に示す。

初年度のアンケート調査の過程で、質問項目以外の貴重な証言を聞く機会に恵まれた。それゆえ、次年度以降アンケート調査と並行して、聞き取り調査を実施した。聞き取り調査では、毎年アンケート回答者より数人を抽出し、調査地の病院あるいは回答者本人の自宅を訪問し、調査地病院スタッフおよび通訳者を同行し、インタビューを実施した。また、全回答者は、被曝したとされる地域に住む「証明書」を所持している。これは、日本におけるいわゆる「被爆者手帳」に該当する。現地では「被災者証明」、「ポリゴン証明」、「環境証明」と呼ばれている。

本資料はこの聞き取り調査の記録である。

表 1 調査地点と調査票回収数

村名	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	合計
サルジャル	48	51						99
ドロソ	28	51						79
カイナル	48	26						74
コクペクティ	47	50						97
カラウル		50						50
ズナメンカ		24	50					74
ブラス			50					50
ボデネ			50					50
モスティク			50					50
チェリヨムシュキー			50					50
グラチ			30					30
クラスニアウル				50				50
コロステリ				32				32
ゼンコフカ				49				49
カミシェンカ				50				50
バラドリハ				50				50
ノヴォポクロフカ				50				50
ベスカラガイ					57			57
ジャンブル					52			52
シエルバクティ					53			53
アクー					99			99
アクジャル						30		30
ケントウベク						51		51
コクトベ						48		48
マライサリ						39		39
マイスコエ						44		44
オゼルキ							21	21
ブケンチ							35	35
ムクル							26	26
プリレチェノエ							7	7
チェコマン							29	29
研究所*			3	1	2			6
計	171	252	283	282	263	212	118	1581

* カザフ放射線医学環境研究所に入院中の患者より 2004年7月31日、2005年8月27日、2006年8月19日に回収したもの。

1 聞き取り実施時期：実施場所

聞き取り調査の実施時期と実施場所は以下の通りである。「村」とあるのはいずれも必ずしも「町村」には相当しない単一の集落である。調査地はアンケート調査地とともに、後掲の地図に示す。なお、地名については後述の凡例（3）も参照。

2002年7月： サルジャル村、カイナル村

2003年8月： サルジャル村、カラウル村、ドロン村

2004年4月： セミパラチンスク市・カザフ放射線医学環境研究所（同研究所入院の患者さんを対象）、ボデネ村

2004年7月： カザフ放射線医学環境研究所、ボデネ村、モスティク村

2005年8月： バラドリハ村、ノヴォポクロフカ村、カザフ放射線医学環境研究所

2006年8月： アクー村（ロシア名レビアジエ）、カザフ放射線医学環境研究所

2007年8月： マイスコエ村

2008年8月： オゼルキ村

2 インタビュー方法

インタビューは、末尾に付した質問票の順に沿った質問を行い、回答を得た。ただし全回答者がすべての質問項目に回答するとは限らないし、設問順とかわりなく回答する場合もある。質問はアンケート項目に関しては、主として現地共同研究者がロシア語もしくはカザフ語で行い、日本人研究者が補足的質問を行った。以下の記録では、原則として回答の内容、順序を優先して記録している。

インタビューアーは、以下の共同研究者である。（順不同、敬称略）

川野徳幸

平岡敬（ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト、広島大学原爆放射線医科学研究所非常勤講師、前広島市長）

平林今日子（2005年以降参加）

松尾雅嗣

モルダガリエフ・タルガット（カザフ放射線医学環境研究所）

凡例

- (1) 回答の冒頭には質問票に従い、性別・生年、2005年以降の回答については現在の職業・最終学歴等の基本事項を示す。なお、プライバシー保護の観点から氏名は記載していない。
- (2) 本文は原則として回答に従ったが、編者が原文の文意を損なわない範囲で加筆・修正を行った。その段階で注記等の解説を加えた。また、回答中における明らかな間違いに関しては、極力回答を尊重し掲載するという編集方針に従って、そのまま掲載したことを注記で示した。
- (3) 回答の中には多くの地名が出現する。それらについては図1に示すか、編者による注記を付している。確認できなかった地名については、適宜注記を付した。回答者による説明があった場合には、「回答者によれば」と前置きした上で注記を付した。

なお、「セミパラチンスク」については、インタビュー当時でも、特にカザフ人は、ロシア語の「セミパラチンスク」ではなくカザフ語の「セメイ」の名称を用いていた。カザフ語である「セメイ」という名称を用いるべきだが、本稿では「セミパラチンスク」に統一した。

謝辞

本調査には、平岡敬先生とモルダガリエフ・タルガット先生に共同研究者として指導・助言をいただいた。

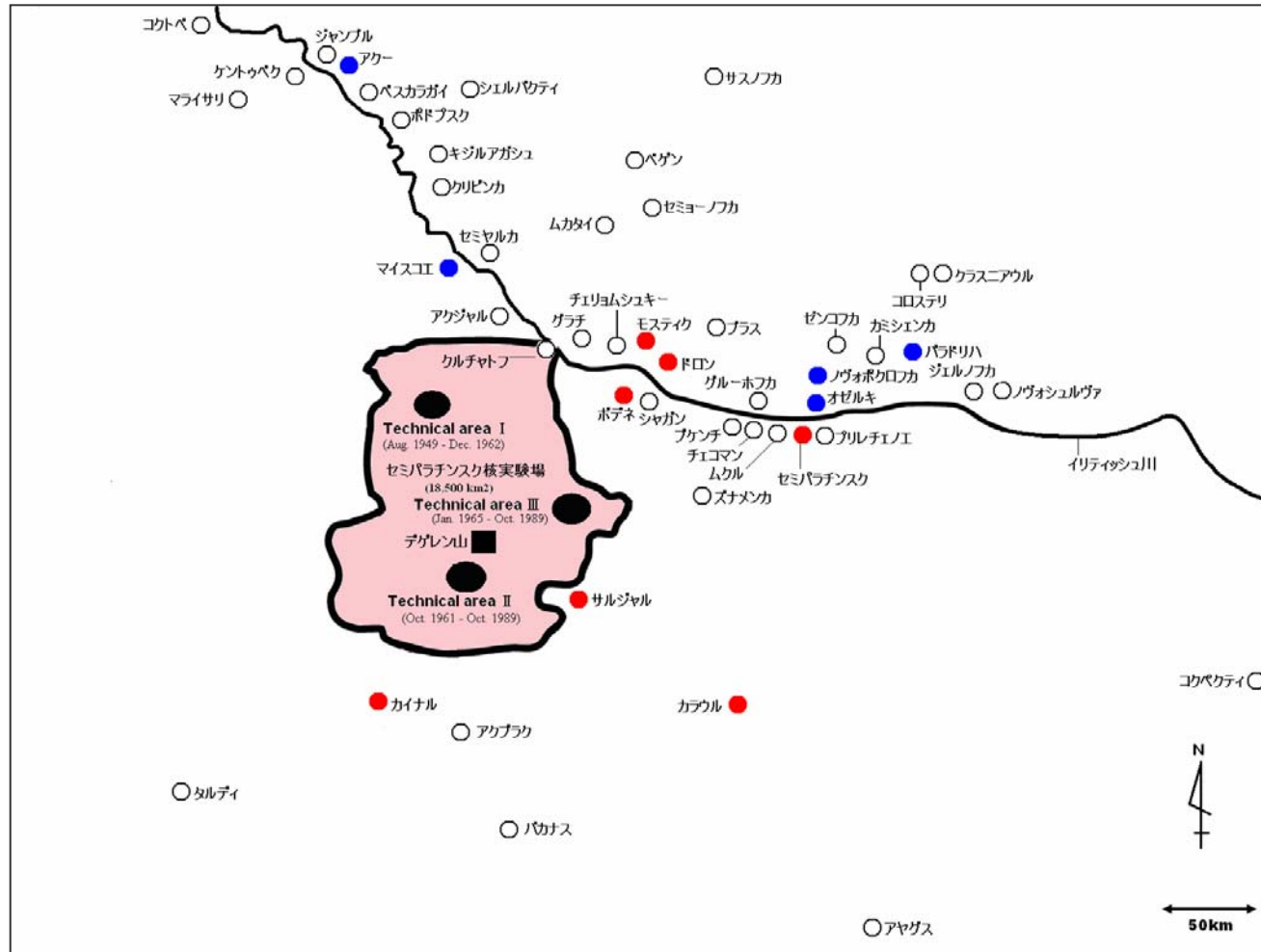
また、聞き取りの通訳は、アケルケ・スルタノバ（2002年）、山田美帆（2003年・2004年4月）、シャラピア・カキモバ（2004年7月）、アセリ・アブドラクマノバ（2005年～2008年）各氏に担当いただいた。

ここに記して感謝いたします。

註

- 1 セミパラチンスク核実験とその被害ならびにアンケート調査結果については、川野徳幸(2006)、『カザフスタン共和国セミパラチンスクにおける核被害解明の試み：アンケート調査を通して』（IPSHU 研究報告シリーズ No.36、広島大学平和科学研究中心）を参照。また、2002 - 2004年収集のアンケート回答中の自由記述証言（末尾に掲載の調査票「核実験にまつわる体験・証言」に対する回答）全文は、川野徳幸他編（2006）『カザフスタン共和国セミパラチンスク地区の被曝証言集』（広島大学ひろしま平和コンソーシアム）にまとめた。

図1 セミパラチンスク核実験場と近郊の村



注. ●は2002-2004年の実施地、●は2005-2008年の実施地を示す。但し、セミパラチンスクは、2005年以降のインタビュー実施場所でもある。

附録1 聞き取り調査質問票

被曝実態調査研究
調査回答票
(設問部分のみ)

下記をご記入下さい。但し、氏名については、差し支えない場合のみ、ご記入下さい。

お名前	性別 男 女	生年月日 年 月 日
住所		
職業： _____ 何年間の教育を受けましたか。 _____年 (□カレッジ、□ユニバーシティを卒業した) あなたの最終学歴校名をお教え下さい。 _____		
被曝者手帳をお持ちですか。該当する番号に○をつけて下さい。 1. はい 2. いいえ		

ご自分でご記入できない場合は、ご家族などに手伝ってもらって書いていただいても結構ですが、その場合は、その方の続柄を下記より選んでください。

1. 配偶者 2. 子 3. 兄弟姉妹 4. その他 ()

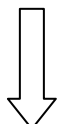
また、今後詳しい調査を行う場合があるかも知れませんが、その際にご協力いただけますか。どちらかに○をおつけ下さい。

1. 協力してもよい 2. 協力したくない

ご質問

問1 あなたは、1949年から1962年の間、どこにお住まいでしたか

1. 継続して現住所にいた	2. 一時期、現住所にいた
3. 現住所と異なる地にいた	



2. を選択された方は、その他の居住地について、その市町村名を下記にお答え下さい。複数ある場合は、全てお書き下さい。

年	月～	年	月	→
年	月～	年	月	→
年	月～	年	月	→

問2 1949年当時のあなたの家族構成についてお教え下さい。

当時、何人の家族と同居していましたか。_____人

当時同居の家族について、以下にお答え下さい。

続柄	生まれた年	現況		
		生存	死亡(死亡年)	死因
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

問3 あなたのご両親のご職業について、お教え下さい。

父 _____ 母 _____

問4 1949年から1962年までの住居は、どのような種類のものでしたか。また、その住居は1階建てかそれ以上かをお教え下さい。

1. 木造平屋	2. 石造平屋	3. 土塀	4. その他 (_____)
1. 1階建て	2. 2階建て以上		

問5 この50年間の主食を以下にお書き下さい。

問6 1949年から1962年の間、どんな種類のミルクを飲んでいましたか。

1. 牛乳	2. 馬乳	3. ラクダ	4. 羊	5. 飲んでいない	6. その他 (_____)
-------	-------	--------	------	-----------	------------------

問7 上記のミルクは、どのようにして入手されましたか。

1. 自分の農場	2. 店で購入	3. 隣人から購入	4. コルホーズで購入
----------	---------	-----------	-------------

問8 一日にどのくらいのミルクを飲みましたか。

_____ リットル

問9 そのミルクは、どのようにして飲みましたか。

1. 何もせず、そのまま 2. 加熱 3. ヨーグルトにして飲んだ

問10 あなたの今の健康状態は、どのようなご様子ですか。お答えいただける方は、次の中からお選びいただき、該当する番号を○で囲んでください。

1. 非常によい 2. 良い 3. 普通 4. 良くない 5. 全く良くない

4. 良くない、あるいは5. 全く良くないと回答した方のみにお聞きします。

現在の体調は（1. 仕事の勤務や日常生活には全く支障ない 2. 仕事は難しいが日常生活には支障ない、3. 日常生活で時に他人の介助を必要とすることがあるが1日の大半は起きて過ごしている 4. 日常生活の多くで他人の介助を必要し1日の半分以上は床についている 5. 1日の大半は床についており、始終他人の介助を要する状態である）

また、以下の症状で当てはまるものを選んでください。

- （1. 体重減少 2. 微熱（37.0℃以上） 3. 食欲低下（普段の半分以下しか食べられない） 4. 不眠 5. 頭痛があり鎮痛剤を服薬することが多い 6. めまい発作 7. 全身倦怠感 8. 寝汗をかく 9. 手足がむくんでいる）

問11 差し支えなければ、現在治療中の病名を一つお教え下さい。

最も最近に医療機関を受診したのはいつですか。 _____

上記の疾患で現在、薬を使用していますか。 _____

問12 それ以外に該当する病名がありましたら、下記の中からお選び下さい。

1. 高血圧（血圧が140/90以上を指摘されたことがあること）	8. 呼吸器の病気（喘息、肺気腫、慢性気管支炎などで医師から診断されたことがあること）
2. 心臓病（狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症などで医師から診断されたことがあること）	9. 糖尿病（空腹時血糖が126、あるいは随時血糖が200以上あること）
3. 目の病気（近視や老眼は除く）	10. 血液の病気（血液検査で異常を指摘されていること）
4. 皮膚の病気（現在、皮疹があること）	11. 関節痛、腰痛、関節炎（現在関節の痛みや変形があること）
5. 消化器（胃腸、胆嚢、膵臓）の病気（医師からレントゲン等の画像検査で異常を指摘されていること）	12. 神経痛（現在、しびれや痛み感覚低下などの症状があること）
6. 肝臓の病気（血液検査あるいは画像検査で肝機能異常を指摘されていること）	13. 耳、鼻の病気（現在、症状があること）
7. 骨折、骨の病気（医師からレントゲン等の画像検査で異常を指摘	14. 甲状腺の病気（血液検査、超音波検査で異常を指摘されていること）

されていること)	15. その他 ()
----------	-------------

問 1 3 上記の現在の病気は、いつ頃からですか。

年 月頃から

問 1 4 上記の現在の病気は、核実験（放射線）によるものだと思いますか。

1. そう思う 2. そう思わない 3. よくわからない

次の質問からは、核実験、そして核実験（地上での）当時のことについてお尋ねいたします。それらについて、思い出したくない方は、以下の質問については、お答えいただかなくても結構です。

問 1 5 ポリゴンで行われているのが、核兵器の実験だと知ったのはいつ頃ですか。

お答え	年頃
-----	----

問 1 6 核実験について何か体験しましたか。

1. した 2. していない

↓ 1. を選ばれた方は、次の問 13 にお答え下さい。

問 1 7 何を体験されましたか。次の中からお選びいただき、該当する番号を○で囲んでください。

光を	1. 見た 2. 見なかった 3. わからない
光を見た人は、それはいつ頃ですか。[年 月頃]	
爆風を	1. 感じた 2. 感じなかった 3. わからない
爆風を感じた人は、それはいつ頃ですか。[年 月頃]	
熱を	1. 感じた 2. 感じなかった 3. わからない
熱を感じた人は、それはいつ頃ですか。[年 月頃]	
雨を	1. 浴びた (たくさん・少し)

2. 浴びなかった 3. わからない	
雨を浴びた人は、それはいつ頃ですか。 [年 月頃]	
ほこりを 1. 浴びた (たくさん・少し) 2. 浴びなかった 3. わからない	
ほこりを浴びた人は、それはいつ頃ですか。 [年 月頃]	
その他、何か核実験に関わる事柄を体験した場合は、その内容をお書き下さい。	

問18 1949年から1962年の間に次の症状がありましたか。次の中からお選びいただき、該当する番号を○で囲んでください。なお、1962年は地上での核実験の最終年です。

1. 頭痛	年	月頃	日間ぐらい
2. 全身倦怠	年	月頃	日間ぐらい
3. 吐き気	年	月頃	日間ぐらい
4. 食欲減退	年	月頃	日間ぐらい
5. 胃腸障害、下痢	年	月頃	日間ぐらい
6. 脱毛	年	月頃	日間ぐらい
7. 皮膚、粘膜の炎症	年	月頃	日間ぐらい
8. 出血	年	月頃	日間ぐらい
9. 発熱	年	月頃	日間ぐらい
10. その他の症状 ()	年	月頃	日間ぐらい

問19 上記の症状は、1963年以降も継続しましたか。次の中から該当する番号を選び、○で囲むと共に必要があれば、()内に記入してください。

1. はい、現在まで継続
2. はい、(年 月頃まで) 継続
3. いいえ

問20(1) 1949年から現在までの間に、次のようなことがありましたか。次の中からお選びいただき、該当する番号を○で囲んでください。

1. 気力がなくなった
2. 悪夢にうなされる
3. 光や大きな音が怖くなった
4. いらいらしておこりっぽくなった
5. 気が重く憂鬱になった
6. その他 (下に具体的にお書き下さい)
[]

問20(2) 現在もそういうこと(19(1)のようなこと)がありますか。

- | |
|--|
| 1. ある→ (ある方は、どの項目ですか。18(1)の番号をお書き下さい。
(複数可) |
| 2. ない |

核実験にまつわる体験・証言

核実験にまつわることで、今でも忘れられないこと、恐ろしく思っていること、心残りなこと、核実験そのものについて思うこと、また要望等がありましたら、何でも結構です、下記に具体的にお書き下さい。その場合、あなた自身に関すること、家族に関すること、親しい周囲の人に関すること、何でも結構です。

また、先にお答えいただいた質問内容について、さらに付け加えたいこと等がありましたら、お書きになって下さい。(紙面が不足の場合は、裏面もご利用下さい。)

この調査結果は、論文、または冊子という形でまとめることを考えておりますが、その場合、上記の具体的な記述等を引用してもよろしいでしょうか。当然、氏名は、公開いたしません。

よいと思われる方は、右の欄に○をお書き下さい。

核実験や被曝にまつわることで、何か印象に残っていることがあれば、それを下記のスペースに絵でお書き下さい。